

1993

TICAD I

1998

TICAD II

2003

TICAD III

2008

TICAD IV

2013

TICAD V

2016

TICAD VI

2019

TICAD 7

2022

TICAD 8

2025

TICAD 9



在アンゴラ日本国大使館

TICAD 8 から TICAD 9 へ :

対アンゴラ協力の歩み

01 TICAD8 概要と日本の対アンゴラ協力方針

02 TICAD8以降の主な対アンゴラ協力

03 多様なアクターによる連携とTICAD9へ

## TICAD 8 概要

- アフリカの共創の場として、2022年8月にチュニスで開催（48か国首脳級出席）
- 「アフリカと共に成長するパートナーとしての日本」として、「人への投資」を重視するアプローチの下、「官民合わせて今後3年間で総額300億ドル規模の資金の投入」、「30万人の人材育成」等のコミットメントが表明された。

## 発表された主なプレッジ

- 人材育成：産業・保健・教育等の分野で30万人を育成
- グリーン投資：40億ドルのアフリカ・グリーン成長イニシアティブ
- 開発金融：AfDBとの協調融資 最大50億ドル
- 保健・公衆衛生：アフリカにおける三大感染症対策・保健システム強化、グローバル・ファンド（GF）への最大10.8億ドルの拠出
- 食料安全保障：農業分野で20万人育成＋3億ドル協調融資
- 地域安定化：汚職対策を含む司法・行政分野の制度構築・ガバナンス強化のための4600人の人材育成



## 対アンゴラ協力の基本方針

→ 「持続可能な経済開発」と「人間の安全保障」

### ① 産業の多角化とインフラ整備

- 非石油分野（農業・水産業・製造業等）の発展
- 経済・社会インフラ整備を通じた産業基盤の強化
- 地雷除去の促進により地域開発や社会復興の後押し



### ② 多層的な人材育成

- 鉱物資源・農林水産業・工業等の産業分野を対象とした能力強化
- 教育・職業訓練等への支援を通じた人材開発



### ③ 人間の安全保障

- 保健医療サービスの質の向上とアクセス拡大
- 公衆衛生・防災・災害対応に対する支援
- SDGs達成への貢献



## 協力の特徴

- オールジャパン：大使館＋JICA＋民間企業の連携
- パートナーシップ重視：アンゴラ政府の国家開発戦略（Angola 2050・国家開発計画2023-2027）と連動



**南部送電系統増強事業**

円借款 / 391億円

ルバンゴ市とナミベ港を結ぶ新たな送電インフラの整備により、南部地域への安定的な電力供給を確保する円借款事業。鉱物資源の輸出促進、地域産業の振興、およびインフラ基盤の強化を通じて、アンゴラの産業多角化と経済発展に貢献する。

7月●日に交換公文署名。

■ JICA ■ 日本大使館 ■ 日本企業（協力準備調査）

**ナミベ湾包括開発プロジェクト**

民間投資・官民連携 / 約700億円

サコマール港の鉄鉱石輸出ターミナル再建とナミベ港のコンテナターミナル拡張を通じ、南部地域の産業多角化・雇用創出・輸送効率向上に貢献。JBIC及び民間金融機関による協調融資の下、豊田通商及び東亜建設工業が実施する「質の高いインフラ」輸出の代表事例。2021年に開始、2025年8月に完工予定。

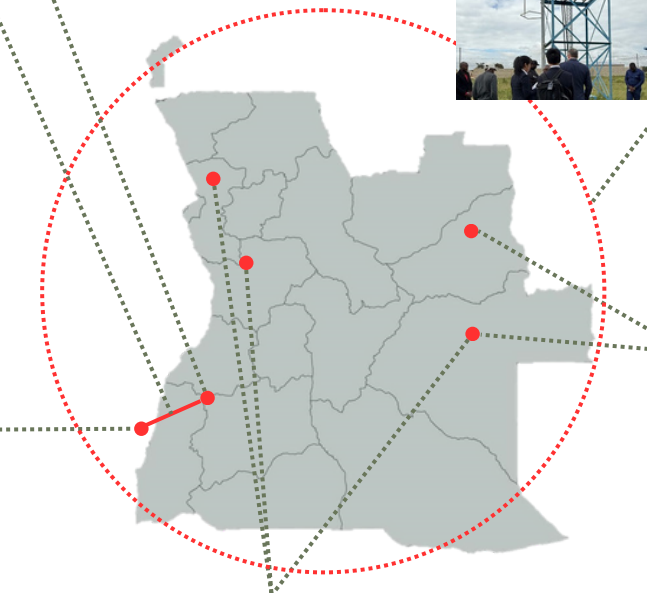
■ 日本企業 ■ JBIC・民間金融機関



**ウイラ州干ばつ緊急給水ポンプ支援 / 国連補正 / 約44万ドル**

干ばつが深刻化するウイラ州14市43地点に、UNOPSと連携して給水ポンプ43基と貯水タンク15基を緊急供与。住民約●万人の水アクセス改善と衛生環境強化に貢献。

■ 日本大使館 ■ UNOPS



**地上デジタルテレビ放送移行プロジェクト / 技術協力**

日本方式（ISDB-T）への移行を支援するため、全国地上デジタル放送マスタープランを更新。多言語・字幕・防災情報など、多様な情報提供を可能とし、国民の情報アクセス向上と周波数帯の有効活用を実現。放送インフラ整備を通じ産業活性化にも貢献。また、ルアンダ本局を整備し、2025年には試験放送を実施予定。

■ 日本大使館 ■ JICA

**東部地域稲作振興プロジェクト / 技術協力 / 約7.2億円**

ルンダ・スル州及びモシコ州で、稲種子の生産体制強化、稲作技術普及、優良種子生産モデル構築を支援。内戦で衰退した稲作を復興し、米の輸入依存からの脱却と農家の収入向上を目指す。

■ JICA



**地雷除去計画 / 無償資金協力 / 約90万ドル（2022年以降）**

TICAD8以降、クワンザ・スル州、ベンゴ州、モシコ州において、地雷除去を行うNGO団体を対象に資金協力を実施。また、国立地雷除去センターに対して日本製の地雷除去機材を供与。これまでに、日本は地雷除去分野で総額約2800万ドル、計43件の協力を実施。

■ 日本大使館 ■ 日本企業（機材調達）





**MEXT国費留学生制度／奨学金制度**

文部科学省（MEXT）が実施する国費留学生制度により、優秀な外国人学生を日本に招へいし、学部・大学院での学習と生活を支援。アンゴラからはこれまで33名が渡日し、日本での経験を活かして帰国後、各分野で活躍。両国の友好と協力の基盤を築いている。



2025年度国費留学生

■ 日本大使館 ■ MEXT

**ABEイニシアティブ／奨学金制度**

アンゴラを含むアフリカ54か国の若者を対象に、日本の大学での修士課程と日本企業でのインターン機会を提供。産業人材の育成と日アフリカ経済の架け橋づくりを目的とした人材育成プログラム。アンゴラからはこれまでに3人が参加。また、SDGsグローバルリーダー育成制度も展開し、産業人材育成と日アフリカ経済の架け橋づくりを後押し。

■ JICA

**不正資金・租税犯罪対策能力強化プロジェクト**

**国連補正／100万ドル**

アンゴラにおける不正資金流出や租税犯罪・密輸行為防止を目的に、検察庁、資金情報機関（FIU）と国税庁（AGT）の能力強化、専門摘発チーム設立、官民連携ワークショップを実施し、計500人超を育成予定。透明性とガバナンスを向上させ、安全・公平なビジネス環境を整備するUNODC案件。（ワークショップ実施地●）

■ 日本大使館 ■ UNODC

**職業訓練校運営管理アドバイザー  
専門家派遣**

豊田通商グループと連携して設立された「トヨタアンゴラアカデミー」の成果を基盤に、JICAは、雇用・職業訓練庁（INEFOP）に対して自動車整備コースの運営管理に特化したアドバイザーを派遣。訓練校運営の制度化・標準化を支援し、自動車整備分野の全国的な人材育成と雇用促進に貢献。

■ JICA ■ 日本企業



**協力経済社会開発計画（鉱物資源機材）  
無償資金協力／4.4億円**

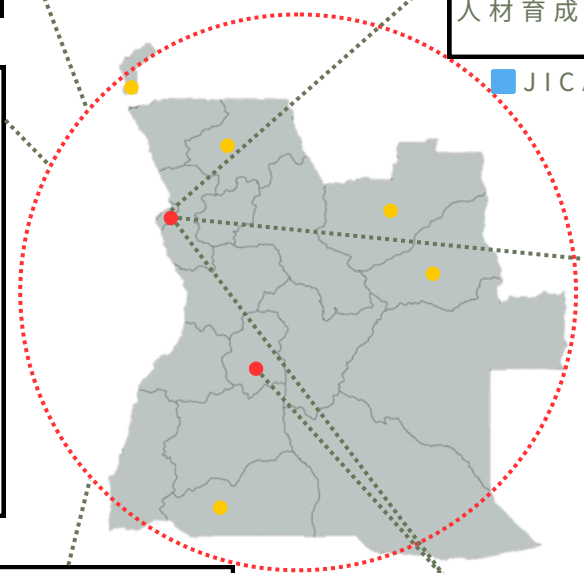
アンゴラ地質研究所（IGEO）の探査・分析能力強化を目的に、車両、3Dスキャナー、ハイパースペクトルカメラ、ドローン等の最新調査機材を供与。探査技術向上と人材育成を通じて、鉱物資源分野の発展と産業多角化を支援。2023年3月の日・アンゴラ首脳会談で表明された「人への投資」を具体化する案件。

■ 日本大使館

**学校建設／草の根無償資金協力  
約23.4万ドル（2022年以降）**

TICAD8以降、ウアンボ州、ルアンダ州において、初等教育の教室整備、校舎建設、スクールバス供与等を実施。これまで日本は草の根無償資金協力において教育分野で総額約200万ドル、計20件の協力を実施。

■ 日本大使館





**経済社会開発計画（ジョシナ・マシエル病院 医療機材整備）**

**無償資金協力／2億円**

アンゴラ最大の総合病院に耳鼻咽喉科治療ユニットや人工呼吸器付き麻酔器を整備し、1日約750人の外来患者と600床の入院患者が裨益。過去にもJICAを通じ約40億円規模で2件の整備計画を実施しており、ODAによる継続支援で診療・手術環境の強化を後押し。

**経済社会開発計画（救急車供与）  
無償資金協力／3億円**

地方部で医療アクセスが不足するアンゴラに対し、小型救急車20台などを供与。新型コロナウイルス対応を含む感染症対策と保健医療体制を強化し、住民の命を守る基盤づくりを支援。日本の人間の安全保障・UHC戦略を具現化。



■ 日本大使館 ■ 日本企業（機材調達）

■ 日本大使館  
■ JICA

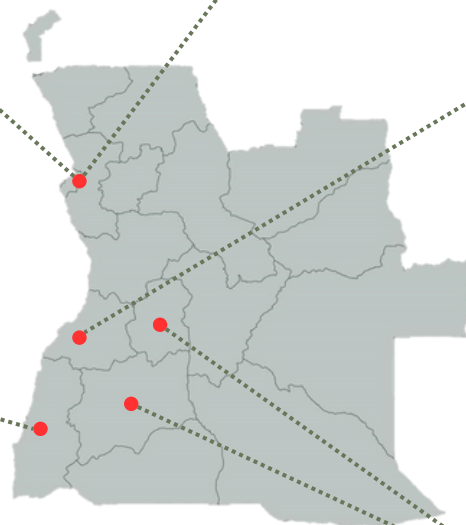


**アンゴラ・ナミベ州における食料安全保障、生計、保健への介入を通じたレジリエンスの構築**

**国連補正／約56万ドル**

ナミベ州ビレイ市・カムクイオ市で、IFRCへの資金提供を通じ、干ばつ被災1000世帯への食料支援、小規模農家への農業研修・資機材供与、栄養教育やコミュニティキッチン運営を実施。人間の安全保障の観点から、住民の健康と生計のレジリエンス強化に貢献。

■ 日本大使館 ■ IFRC



**アンゴラにおけるエルニーニョへの緊急栄養支援**

**国連補正／約27万ドル**

エルニーニョによる干ばつが深刻化するベンゲラ州で、UNICEFへの資金提供を通じ、5歳未満児約4万人の栄養状態スクリーニングと2千人への重度消耗症治療、3.5万人の保護者への栄養指導を実施。合計約7.5万人の栄養改善と子どもの生命維持に貢献する。

■ 日本大使館 ■ UNICEF

**プライマリヘルスケア施設における妊産婦ケアの質改善プロジェクト**

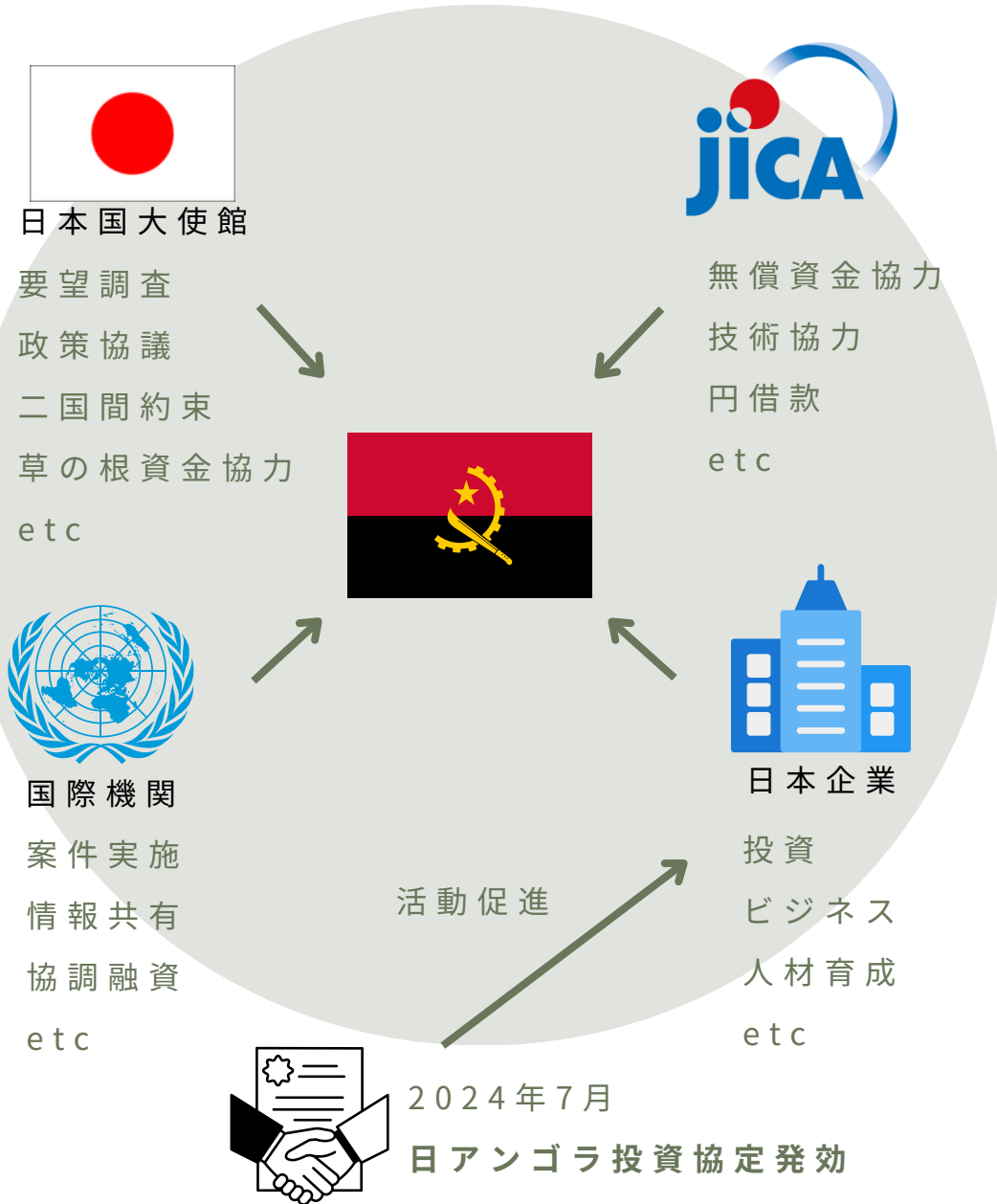
**技術協力／約4億円**

ウィラ州・ウアンボ州のプライマリヘルスケア施設で、妊産婦ケアの質向上、人材育成、コミュニティ啓発を推進。先行プロジェクトで開発された母子健康手帳を活用し、研修や機材供与を通じて施設分娩率向上と母子の健康改善に貢献。

■ JICA



## 多様なアクターによる連携



## TICAD9への期待

30年以上の信頼関係を土台に、日・アフリカ、国際社会が抱える諸課題について、日・アフリカ双方の繁栄や変革につながる革新的な課題解決策を共に創り上げ、分断・対立にある国際社会を協調に導くべく、アフリカ諸国との更なる連携強化を目指す。

### 経済

貿易、投資、経済  
 連携

### 社会

人材育成、文化外交

### 平和と安定

アフリカの取り組みを  
 後押し、紛争予防・平和の  
 定着



連結性の強化



若者・女性の活躍



官民連携



包括的なグローバルガバナンス



"Co-create Innovative Solutions  
 with Africa"